



WEEKLY REPORT No.1339

<本年度会長方針>

もっと知ってもらおう 我々の活動を

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル
会長 田崎 雅三 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル6F
幹事 丹下 富博 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org



第1567回例会

青少年奉仕月間

平成28年5月19日(木)

会員卓話

於 名古屋東急ホテル

出席計算数 56名

出席計算数

46名中37名出席

出席率80・43%

前々回出席率89・36%

例会プログラム

★元受入青少年交換学生挨拶

★ハナシ交換

★卓話

ロータリーソング

「奉仕の理想」

指揮者 岡村 隆徳

ピアノ伴奏 富板 玲子

ゲスト

07-08年度受入青少年交換学生

マイケル・ユール

(REGINA-OSKAYARA)

マイケル君ご夫人

エイミー・ユール

ニコボックス

武藤恵美子さん 卓話宜しくお願い

いたします。

田崎 雅三・酒井 修

丹下 富博・林 富徳

麻雀大会楽しかったです。

吉田 明夫

マイケル君久しぶりです!

岡部 快圓

マイケル君お久しぶりです。

高木 政義

マイケル、エイミー、ようこそ

日本へ。 岡村 隆徳

佐藤さん 優勝おめでとうございます

ます。 尾上 昇

先日のコンペ、佐藤さん大上さん

ありがとうございます。 神野 邦利

5月19日、私の70歳の誕生日です。

またGOLFでもスコアに恵ま

れました。一緒にラウンドしてく

れた皆さん、ありがとうございます

ました。 佐藤 彰

結婚記念月です。44周年です。

小澤 幸男

結婚記念月です。昨日40回目のル

ビー婚式でした。 前田 隆久

結婚記念月です。 横井 衛

会長挨拶 (歴代会長挨拶)

28代会長(11-12年度)

川畑 博敏



私は田崎会長から数えて5代前の2011年度から2012年度の会長でした。当時は、世界の経済情勢が悪く混沌とした状況でし

たので、私の会長卓話はあえて専門外の『世界経済が今どうなっているか』をテーマに話すことにしました。これは、とても勇気のいることでした。また、経済は生き物なのでスピーチ直前まで状況が変化していないかチェックしたり大変でした。

本日は、久しぶりに最近の世界の経済情勢についてお話ししようかと思いましたが、またかと思われるいやなので、『私がロータリーで学んだこと』についてお話しすることになります。

ロータリーで学んだことはいくつもあるのですが、時間の関係上一つだけお話ししたいと思います。それは、ロータリーの異業種という魅力の活用です。自分の考える案とは、必然的に自分の経験や自信から生まれてくる内容のものになります。そこに、違った世界で生きる異業種の人たちの得意分野の考えを重ねた上、平面的にも立体的にも大きく輪が繋がります。

いままでも、多くのロータリーの活動を通じて学び実感している会員も多いと思います。この異業種の活用はロータリー活動だけではなく、仕事でも十分に使えると思います。

ただ単に仕事をキャッチボールする異業種の付き合いではなく、新たな事業を生み出すために選別

した異業種力を結集し事業化できるように発展させることが大切だと考えます。

会員卓話

「がんを生き、がんを逝く」

「客観的数学からの提言」

武藤恵美子さん

題名だけでは誰かの闘病日記と思われると思い、客観的数学からの提言という副題をつけました。今日の話題では個人の話としてではなく、社会的、つまり日本国としてどのような方向に進むべきかを考えてみたいと思います。話の内容は以下の3点です。

① がんを生きる

今や国民2人に1人ががんになると言われていますが、その一方で治療方法の進歩は目覚ましく、以前は数ヶ月の余命と言われた状態でも数年間にわたりがんと共に生きる人が増加しています。

② がんを逝く

それでもやはり、現状ではやが



てはがんでいくことになる場合が多く、今や国民の3分の1ががんでいくのです。そのためがんの終末期をどう過ごすかを考える必要があります。緩和医療の取り組みもまわっています。

③ 日本国の選択：

どうしてこの様に人生の最終段階を過ごすか、これらが治療のためにかかる莫大な費用を誰がどのように負担するか、選択が必要な時代となりました。

■元受入青少年交換学生を支援

元青少年交換学生マイケル・ユールくん (Michael Yule, 07-08年度) が、エイミィ夫人とともに例会に参加されました。

現在はマイケルくん自身もロータリーアンソングならぬ、活躍されています。



・REGINA OSKAYA RC / 第5550地区 (カナダ)

地区研修・協議会報告
次年度社会奉仕委員長

渡辺 観永さん (4月28日例会)

地区の社会奉仕委員会における話は、おおむね以下の3点に絞られます。

1. 社会奉仕について (地区補助金とG補助金事業)
2. RCCについて
3. 環境保全について

しかしながら印象的だったのは、公共イメージ向上委員会による「(特にSNS利用)を使用した広報活動の推進要請でした。特にFACEBOOKを利用した広報を強く打ち出していました。すでに次年度のガバナーのFBページも立ち上がっており、開会式の中でも言及されたことが改めて話として出て参りました。是非、皆さまもガバナーページとMY ROTARYのページに登録をお願いいたします。ですが、あくまでロータリー関係者以外への発信というのが狙いであると感じています。次年度は社会奉仕事業も、何らかの形で一般の方にも理解してもらいやすいようなアプローチをすべきであると感じています。この、話を3点にも絞ります。

1. 社会奉仕について
内容としては例年聞き及んでいくこと大きな変化はありません。

当クラブにおきましてもすでに補助金事業ははじまっており、その確認作業となりました。財団からの補助金の流れを詳しく示して説明をいただきましたが、グローバル補助金につきましては、数年具体的な数字はないにおける実施、追跡調査が必要なのが協調されました。組織並びにクラブ目標が単年度のクラブ形態では実施はかなりハードルが高いとの印象を受けました。

2. RCCについて

今年実施の各行事もそうですが、ロータリーが提言をし、実施は様々な諸団体個人との協同の比率が増しています。RCCはその解決策の一つの形であると思います。しかしこれもやはり単年度形のクラブ形態では、はたしてこのRCCを維持できるのか、またRCCありきのロータリー活動になってしまつてはならないのかの懸念もあります。しかし、今後のクラブの形態を考えていくべききっかけの一つになるかと思えます。

3. 環境保全について

2010年に名古屋で開催されましたOOP10におきまして採択された「愛知目標」をもって活動している旨が改めて指摘されました。当クラブはこの方針を検討してみます。里山問題、水の問題提言、実施的活動としての猿投の森での活動、OSU山桜フェイル

田崎会長杯取り切り戦及び第163回ゴルフ例会

平成28年5月15日(日) 於 京和カントリー倶楽部



<会長杯優勝> 大上 晃延
荻須さん、鬼頭さん、春日井さんと一緒にラウンドさせていただけたことが、今回優勝することができた一番の要因だと思います。ありがとうございました！！



<例会優勝> 佐藤 彰 <バスコロ> 神野 邦利
<ニアピン> No.3 岡田 尚彦 No.8 堀江 英弥
No.11 荻原 賢二 No.15 大上 晃延
<ドラコン> 大上 晃延

		OUT	IN	GROSS	HDOP	NET	次回	
会長杯	優勝	大上 晃延	46	43	89	13	76	-
	2位	佐藤 彰	47	44	91	14.0	77.0	-
例会	優勝	佐藤 彰	47	44	91	20	71	15
	2位	大上 晃延	46	43	89	18	71	15
	3位	神野 邦利	41	43	84	8	76	7
	BB	林 順治	54	52	106	19	87	-



ドなど、すでに年度をまたいで実施している内容を致しております。この方針をクラブとして捉えれば、地区環境保全については他のクラブに対しても「頭先」しているのではないかと思えます。これを財産としていく必要性があると感じています。

また地区では、熊本の震災支援として地区の社会奉仕委員会が中心となり肥後大津RCへの緊急援助物資を4トントラックで25日に陸送する説明がございました。

6月9日(木) 例会の案内
会員電話
「超高齢社会で自分らしく生きる為に美容の役割」
〜美容福祉士という新たな価値〜
荒井 美佳さん
「地区国際奉仕委員会報告」
〜「スパー」支援〜
堀江 英弥さん

広報委員会 前田 隆久
大澤 伸悟・杉浦 令淑
*本文は、原則 頂いた原稿を転載しています。